

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県緑が丘スポーツ公園	所管課	スポーツ健康課
所在地	甲府市緑が丘2-8-2	設置年月日 (改築年月日等)	昭和39年5月1日
管理方式	指定管理者(財団法人山梨県体育協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	都市計画法、都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	都市の緑の中核として、活力ある長寿・福祉社会の形成、都市のうるおい創出に資するとともに、自然とのふれあい、コミュニティの形成、広域レクリエーション活動等県民の多様なニーズに対応する。		
主な施設内容 (定員等)	大体育館(固定席1,068席)、小体育館、柔道場、剣道場、弓道場、洋弓場、宿泊施設(定員100名)、屋内プール(25m×15m) 都市公園部分の施設(園路、緑地、広場、駐車場、駐輪場等)		
主な業務内容	施設の運営及び維持管理業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	(1)小瀬スポーツ公園:利用者数604,019人 (2)富士北麓公園:利用者数140,466人 (3)県立青少年センター:体育館、研修室・会議室、宿泊施設、運動場、屋内プール等
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度 (目標値)
利用者数	体育館	127,664	150,536	54,417	/
	屋内プール	24,101	27,754	11,923	/
	その他体育施設	28,347	32,950	12,118	/
	宿泊施設	1,739	1,812	952	/
	会議室、研修室	7,083	11,439	7,447	/
	利用者数合計	188,934	224,491	86,857	/
	目標値	170,000	170,000	100,000	163,000
	目標値設定の考え方	過去3年間の平均を基準とし、大規模大会や施設改修による閉鎖期間等で調整した数値とする。	過去3年間の平均を基準とし、大規模大会や施設改修による閉鎖期間等で調整した数値とする。	過去3年間の平均を基準とし、大規模大会や施設改修による閉鎖期間等で調整した数値とする。	平成21年度の実績から、大体育館と小体育館の閉鎖期間の利用者数を控除した数値とする。
対(20)年度比	100.0%	118.8%	46.0%	86.3%	

## 4. 収支状況

単位:円、%

		平成21年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成23年度 (計画値)
収入	施設利用料	14,584,455	14,164,000	6,732,959	14,304,000
	指定管理者委託料	74,358,000	74,644,000	71,624,000	75,254,000
	その他				
	収入合計(A)	88,942,455	88,808,000	78,356,959	89,558,000
支出	人件費	31,057,233	32,190,000	25,797,267	33,293,000
	県への納付金				
	管理運営費	55,334,195	56,618,000	46,400,377	56,265,000
	(うち外部委託費)(B)	20,102,681	23,089,000	13,763,972	22,602,000
	支出合計(C)	86,391,428	88,808,000	72,197,644	89,558,000
収支差額(A-C)		2,551,027	0	6,159,315	0
外部委託比率(B÷C)		23.3%	26.0%	19.1%	25.2%
利用者一人当りの経費		331	746	825	462

## 5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期: 体育館: 平成22年5月 スポーツ会館: 平成22年5月、平成23年3月 実施方法: 施設利用者へのアンケート、回答数: 168人
-------	--

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
①施設・設備状況	29.2%	56.5%	11.9%	2.4%
②開館日	74.4%	0.0%	25.0%	0.6%
③開館時間	90.5%	0.0%	9.5%	0.0%
④利用予約・手続き	51.8%	42.9%	2.4%	3.0%
⑤施設利用料	11.3%	67.9%	17.3%	3.6%
⑥接客対応	65.5%	21.4%	3.0%	10.1%
⑦全体としての満足度	59.5%	25.0%	5.4%	10.1%

利用者の意見	・アリーナの照明が全体的に暗く、中央に比べて周辺はさらに手暗がりである。補助照明があった方がよい。 ・スポーツ会館の駐車場が少ない。
利用者の意見への対応	・体育館耐震他改修工事において、アリーナ(大体育館、小体育館とも)の照明は高照度・低電力型のものに取替改修を行うこととなっている。 ・平成23年度に実施される防災工事においてスポーツ会館に最も近い体育館北駐車場が整備され駐車スペースが拡大される。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	条例、仕様書等に基づいた事業計画書に沿って適正に業務を執行した。	施設の維持管理については、事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務を行うこと。
運営業務	屋内プールの改修工事、体育館の耐震工事とも工期に変更があったが、可能な限り早期に対処し、利用者サービスの向上を心掛けた運営を行った。	施設の運営業務については、屋内プールの改修や、体育館の耐震工事等による施設の閉鎖がある中、利用者への対応等で大きなトラブルもなく運営できていた。事業報告書や現地確認の結果、適正に業務執行されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務を行うこと。
自主事業	改修・耐震工事等により施設が利用できない期間があったが、事業の実施場所を変更するなどし、計画どおり事業を実施するよう努めた。	自主事業については事業計画書どおり業務が行われていることを確認した。 引き続き積極的に自主事業を計画し、利用者へのサービス向上に努めること。
利用状況	スポーツ会館、体育館とも実施されていた工事の工期に変更が生じたが、可能な限り早期に利用者へ周知を行い、利用促進に努めた。	利用者の拡大に繋がるよう、創意工夫したPR活動や情報提供に一層努めること。
収支状況	経年劣化により増大する施設修繕を積極的に行いながらも、人件費の削減や節電等により、計画以下に支出を抑えることができた。	利用者の安全性の確保や利便性の向上に必要な施設修繕を行うなかで、計画以上に支出を抑えていることは評価できる。
利用者満足度	スポーツ会館改修工事および体育館耐震他改修工事では、利用者ニーズが可能な限り反映されるよう、所管課・施工業者と積極的に協議を行った。今後は更に利用者ニーズの的確な把握に努め、利用者サービスの向上につなげたい。	施設整備に関する満足度では、「十分」との回答が29.2%であるが、これは、原則として県教委が行うべきものであり、緊急性の高いものから修繕等を行っており、指定管理者の責に起因するものではない。全体としての満足度は、H21年度の55.2%からH22年度は、59.5%と上昇しており、指定管理者の努力が伺える。引き続き、対応可能なニーズに対しては迅速な対応をし、今後とも利用者のニーズを把握し、サービスの向上に努めて頂きたい。
運営目標の達成状況	総利用者数(86,857人)は目標総利用者数(100,000人)を下回っているが、これはスポーツ会館屋内プール改修工事の延期による閉鎖期間の延期(2か月間)が影響したことによる。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	維持管理業務、運営業務等については適正に実施されている。また、本施設は老朽化が著しく、平成22年度の体育協会が実施した小規模修繕は26件に上った。それだけの修繕があるということは、利用者への説明・対応などを含め、難しい対応を迫られていると思うが、そのような中で大きなトラブルや事故もなく管理している点は大いに評価できる。 今後は、体育館の耐震改修工事等に伴う閉鎖期間がある中で、一層の経費削減と利用客の確保に努めて頂きたい。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	工事期間中に確認された工事対象外の修繕必要部分については施工業者と積極的に協議を進め、施設の安全・快適性の向上に努めている。 経費については、現在の社会状況から電力に重点を置き、利用者サービスを低下させぬよう留意しながら削減を図っている。 利用者確保については、施設の予約状況を中心に施設情報の周知をさまざまな手段を利用し図っている。	

7. 管理体制(組織図)

